

竜ヶ窪

がくぼ (中魚・津南町)

■環境：森林、湖沼
 ■対象：家族
 ■期間：5月上旬～7月上旬

信濃川によって形成された河岸段丘の上であり、年間3万人近くの人を訪れ、全国名水百選の中でも屈指の湧水量があり、池の周囲の森にはオオルリ・キビタキをはじめ多くの野鳥が観察されている。

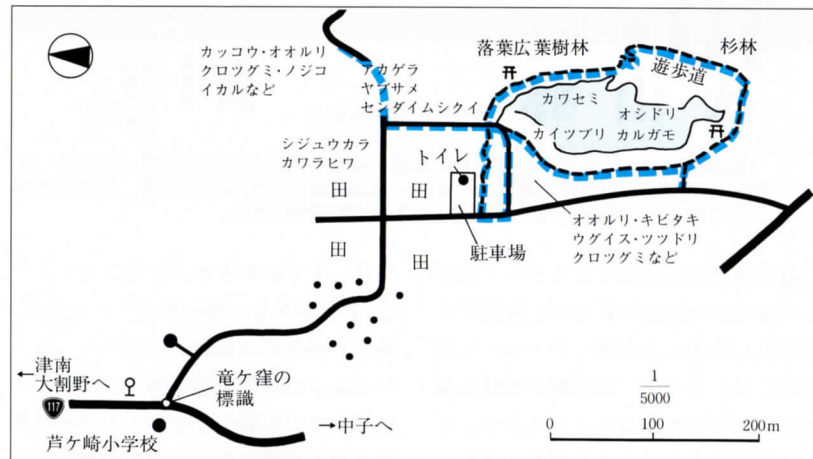
名水百選に選ばれた竜ヶ窪からは澄みきった水が絶え間なく湧き出し、水辺は森の中に幽玄にたたずんでいる。湧出量は1分あたり30ℓで、池の水は一日に1回全部入れ替わる。表面水温が真夏でも11℃と手を切るほど冷たい。池の中には本県では珍しいカワマスが見られる。

池の周囲に1kmにも満たない遊歩道があり、それを一巡しながら探鳥するとよい。池の東側の神社を中心にブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹の自然林が占め、杉の植林地がそれに続く。池を取

り巻くこの森にオオルリ、キビタキ、クロツグミ等を主体とする夏鳥がさえずり合う。神秘的な池の畔で森のコーラスを堪能することができる。近くの芦ヶ崎小学校で毎年1回の探鳥会を長年にわたって実施しているが、その記録には以下のような森林や低木林の鳥類が確認されている。サシバ、ノスリ、キジ、アオバト、カッコウ、ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチ、アマツバメ、ブッポウソウ、アカショウビン、アカゲラ、アオゲラ、コゲラサンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、チゴモズ、



竜ヶ窪ゆう水池



クロツグミ、ウグイス、ヤブサメ、メボソムシクイ、センダイムシクイ、オオルリ、キビタキ、コサメビタキ、サンコウチョウ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、エナガ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、ノジコ、カワラヒワ、イカル、ニューナイスズメ、オナガ、カケス。しかし近年、アカショウビン、サンコウチョウ、チゴモズ、ブッポウソウなどの声や姿は見られなくなったのが残念である。池の周辺のブナの自然林を伐採し、杉を植林したことが原因であろう。

また、水辺の鳥としてはオオヨシキリ、オシドリ、コガモ、カルガモ、ホシハジロ、カイツブリ、カワセミ、キセキレイ、セグロセキレイ、ハクセキレイが確認されていて、オシドリ、カイツブリ、カルガモはこの池とその周

辺を営巣場所として利用している。

(桑原民生)

メモ

交通 バスは本数が少なく不便。自家用車が良い。十日町方面から117号線を行き、津南町大割野を抜け、中津川を渡ったらずぐ左折する。約5km行くと右手に芦ヶ崎小学校がある。その三差路を左に曲がり600m田んぼの中の道を行けば駐車場である。バス利用の場合は、大割野から中手行きに乗り、谷内公民館前で下車、そこから600m歩く。

☑ 駐車場は広くトイレもある。探鳥会は毎年1回5月に芦ヶ崎小学校が児童対象に行う。

問い合わせ先：十日町保健所

☎0257-57-2400

5月上旬ならば、池のほとりにミズバショウを見ることができる。